

平成 24 年 3 月 12 日

三島市長 豊岡 武士 様

「第 32 回三島の川をきれいにする奉仕活動」における
源兵衛川の清掃奉仕活動の「中止」のお願い

NPO 法人グラウンドワーク三島 理事長 緒明 實
三島ホテルの会 会長 志村 肇
源兵衛川を愛する会 会長 瀬川 義恭

源兵衛川は、これまでに多くの市民による水辺自然環境の改善・再生活動によってかつての清流がよみがえり、今では、絶滅危惧種のアホウドリや清流のシンボルであるゲンジボタルが生息するなど、三島を代表する「環境と観光の顔」として高い評価を受けるまでになりました。

しかし、平成 19 年 12 月 21 日、源兵衛川中流部において、生コンクリートの流出事故が起こり、多くの生き物が死滅するなど、水辺環境に多大な影響を及ぼすことになりました。

この状況を踏まえ、当法人では、静岡県沼津土木事務所や生態系の専門家との協働により、5 年間にわたる「環境モニタリング調査」を実施して、魚類や水生動物、鳥類、植物、トンボ類などについて、生態学的な見地から専門的な分析・評価を行ってきました。

調査結果から、絶滅危惧種「アホウドリ」の生息個体数の増加が確認できました。これは、源兵衛川の水量が多く、通常陸地の部分が水没し、アホウドリの繁殖に適した環境が拡大したこと、また、落ち葉の中で生息が確認されたことから、河川の一斉清掃を昨年に行わなかったことが、個体数の増加につながったと判断しております。

しかし、外来動植物の移入・拡大をはじめとして、従前の水辺環境の再生には程遠い状況であること、さらには、今後、アホウドリの生息・繁殖環境の改善や、繁殖に適した水辺環境の造成など、持続的な生息環境のエコアップ（環境改善）が必要とされていることが明らかになりました。

そこで、「第 32 回三島の川をきれいにする奉仕活動」における源兵衛川の清掃奉仕活動におきましては、下記の通り、お願い申し上げます。

記

1. アホウドリをはじめ、ゲンジボタルなどの水生生物の繁殖期にあたる 3 月から 6 月に、源兵衛川に多くの人々が入り、河川内を歩き、ヤナギモなどの流水中の水草を除去することは、「三島の生き物の宝物」といえるアホウドリなどの生息に多大な悪影響を与えることになり、従前の水辺環境に多大な悪影響や負荷を与えるなどの危険性が想定されることから、自治会が参加する、5 月 13 日の源兵衛川の清掃奉仕活動については、「中止」とされるようお願い致します。
2. 源兵衛川の清掃作業は、本法人が中郷用水土地改良区と役割分担を調整のうえ、実施します。
3. 源兵衛川の分水区間の清掃作業は、本法人が玉川用水関係者等と役割分担を調整のうえ、実施します。
4. 源兵衛川の清掃奉仕活動については、本法人の責任において、自治会の協力をいただきながら、アホウドリの繁殖期やゲンジボタルの羽化期が経過する 6 月下旬以降に実施します。